

中国「上海福喜食品」における使用期限切れ

鶏肉使用問題について

- ・本件については、関係省庁もマスコミ報道以外の情報を得ておりませんが、報道が事実とすれば、食品事業者として決して許される行為ではなく、極めて遺憾です。
- ・報道されている企業以外に「上海福喜食品」と取引のある会員企業の報告は、現在のところはありません。
また、使用期限切れ鶏肉が日本に輸入されたかどうかは、中国当局が調査中であり、確認が取れていません。
- ・日本に輸出している中国の食品事業者は、国内事業者との連携（駐在員の派遣、施設の検査、従業員の研修等）により、二重、三重の厳しい品質管理の下で生産活動を行っております。
- ・報道の映像にみられる、落下した食材や変色した肉の使用は、通常の常識では考えられないことから、事実関係については、中国当局の調査を見守ってまいります。
- ・今回の問題は、「上海福喜食品」における個別の問題であり、本件を理由に中国から輸出される全ての食品に問題があるわけではありません。
- ・協会は、関係省庁等と緊密な連携を図り、情報の収集に努めると同時に、マスコミに対し、ことさら中国産食材が危険であるかのような報道を控えるよう、冷静な報道を求めていますので、会員各位におかれても、冷静な対応をお願い申し上げます。
- ・なお、ご参考まで中国産輸入食品の食品衛生法違反率等については、食の安全・安心財団のホームページに掲載されておりますので、ぜひご参照ください。

<http://anan-zaidan.or.jp/pages/china10.pdf>

- ※ 本件について協会は、食の安全・安心財団とも連携して情報の収集に努めています。
新たな情報の入手、留意すべき事案が発生した場合は速やかに会員各位にご案内申し上げます。
本件にお問い合わせはJF事務局：関川・田村（03-5403-1060）、食の安全安心財団：中村（03-5403-1064）までお願いいたします。